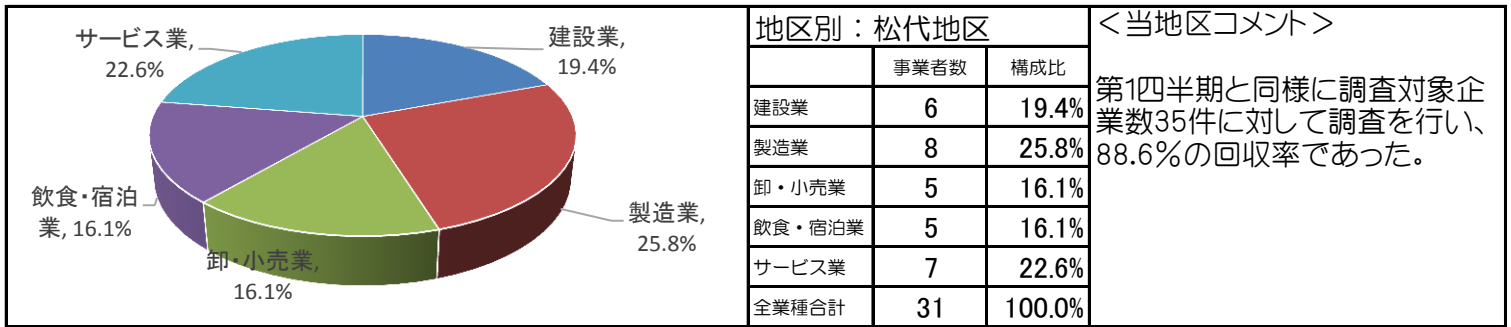
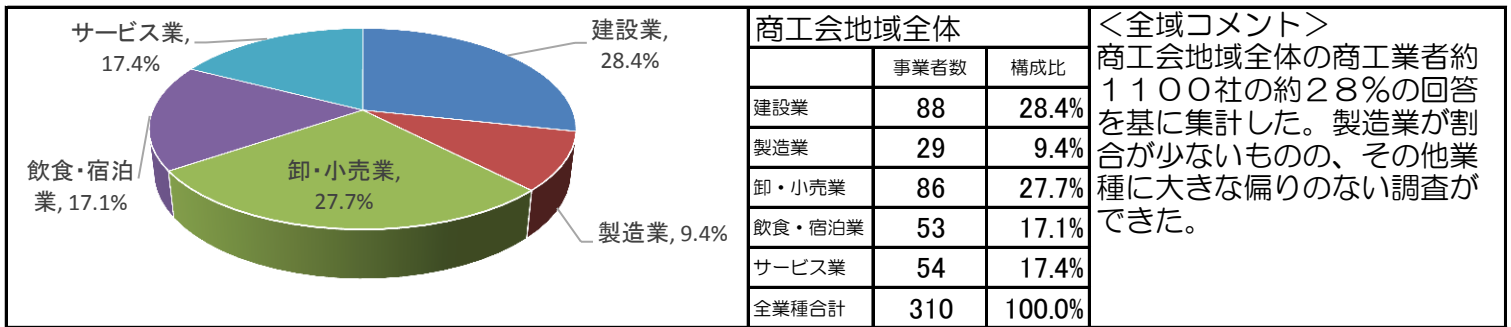


十日町市商工会地域 企業景況調査 第2四半期報告書 (H28.7.1~H28.9.30) 松代地区

小規模事業者以外含む全事業所

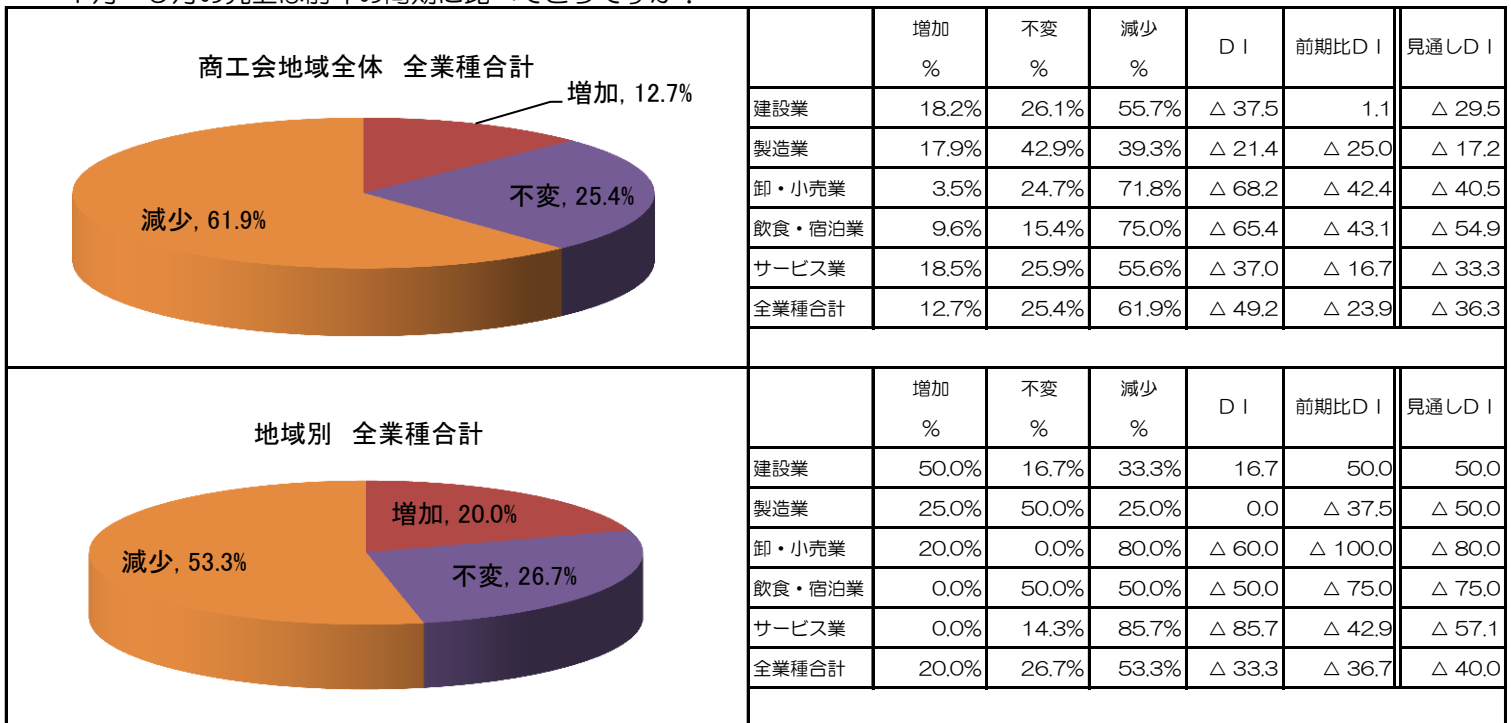
◇ 調査対象事業所構成割合



DI値(景況判断指数) = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

1. 売上について

・7月~9月の売上は前年の同期に比べてどうですか？



＜全域コメント＞ 商工会地域全体の全業種売上は、前年同期と比べて△49.2ポイント減少。特に卸・小売業、飲食・宿泊業は△65ポイント以上の減少。前期比でも△23.9ポイントと減少し、卸・小売業、飲食・宿泊業は△40ポイント以上の減少であった。又、今後の見通しについても、全業種で減少を予想しており、特に飲食・宿泊業△50ポイント以上減少予想である。

＜当地区コメント＞

まつだい地域の全業種の売上は、前年同期比で△33.3ポイントとなっているが、建設業は「増加」が「減少」を上回っている。前期比においても建設業でプラスになり、来期の見通しにおいても同様である。反面、卸・小売業と飲食・宿泊業、サービス業ではマイナス幅が大きく、非常に厳しい状況が伺える。また、十日町市全体の数値と比べて、建設業を除き、見通しの悪さが浮き彫りになっている。

## 2. 採算について

・7月～9月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計			好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
		建設業	13.6%	43.2%	43.2%	△ 29.5	△ 1.1	△ 25.0
		製造業	0.0%	67.9%	32.1%	△ 32.1	△ 25.0	△ 20.7
		卸・小売業	2.4%	37.6%	60.0%	△ 57.6	△ 37.6	△ 37.3
		飲食・宿泊業	7.7%	15.4%	76.9%	△ 69.2	△ 51.0	△ 52.9
		サービス業	13.0%	42.6%	44.4%	△ 31.5	△ 25.9	△ 25.9
		全業種合計	8.1%	39.1%	52.8%	△ 44.6	△ 26.1	△ 32.8
地域別 全業種合計			好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
		建設業	33.3%	33.3%	33.3%	0.0	0.0	50.0
		製造業	0.0%	75.0%	25.0%	△ 25.0	△ 25.0	△ 50.0
		卸・小売業	20.0%	60.0%	20.0%	0.0	△ 20.0	△ 40.0
		飲食・宿泊業	0.0%	25.0%	75.0%	△ 75.0	△ 100.0	△ 100.0
		サービス業	14.3%	28.6%	57.1%	△ 42.9	△ 42.9	△ 14.3
		全業種合計	13.3%	46.7%	40.0%	△ 26.7	△ 33.3	△ 26.7

<全域コメント> 商工会地域全体の採算は、前年同期と比べて全業種合計で△44.6ポイント悪化。特に飲食・宿泊業は△69.2ポイント悪化、卸・小売業も△57.6ポイント悪化した。前期比でも全業種で△26.1ポイント悪化し、今後の見通しでも全業種で△32.8ポイント悪化予想である。

<当地区コメント> まつだい地区の全業種の採算は、前年同期比で△26.7ポイントとなっており、特に飲食・宿泊業の△75.0ポイントが目立っている。前期比では、飲食・宿泊業で△100.0となっている。来期の見通しでも、建設業を除きマイナスとなり、飲食・宿泊業の見通しの悪さが際立っている。十日町市全体の全業種の数値に比べて、前年同期比では悪く、見通しでは良くなっている。

## 3. 仕入単価について

・7月～9月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

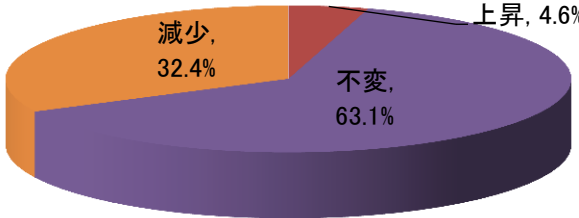

商工会地域全体 全業種合計			上昇 %	不変 %	低下 %	D I	前期比D I	見通しD I
		建設業	13.6%	81.8%	4.5%	9.1	1.1	4.5
		製造業	32.1%	64.3%	3.6%	28.6	21.4	31.0
		卸・小売業	24.7%	51.8%	23.5%	1.2	1.2	9.5
		飲食・宿泊業	48.1%	40.4%	11.5%	36.5	31.4	29.4
		サービス業	13.2%	81.1%	5.7%	7.5	3.8	1.9
		全業種合計	24.2%	64.7%	11.1%	13.1	8.5	12.1
地域別 全業種合計			上昇 %	不変 %	低下 %	D I	前期比D I	見通しD I
		建設業	0.0%	83.3%	16.7%	△ 16.7	△ 16.7	△ 16.7
		製造業	50.0%	50.0%	0.0%	50.0	37.5	37.5
		卸・小売業	40.0%	20.0%	40.0%	0.0	△ 20.0	△ 20.0
		飲食・宿泊業	75.0%	25.0%	0.0%	75.0	50.0	50.0
		サービス業	0.0%	85.7%	14.3%	△ 14.3	△ 14.3	0.0
		全業種合計	30.0%	56.7%	13.3%	16.7	6.7	10.0

<全域コメント> 商工会地域全体の仕入単価は、前年同期と比べて全業種合計で13.1ポイント上昇し、特に飲食・宿泊業、製造業の上昇が目立が、不変割合は64.7%である。前期比でも8.5ポイント上昇であり、飲食・宿泊業31.4ポイント、製造業21.4ポイント上昇し、今後の見通しでも上昇予想しており、売上原価が上昇傾向と見ることができる。

<当地区コメント> まつだい地区の全業種の仕入単価は、前年同期比で16.7ポイントとなっており、製造業、飲食・宿泊業で上昇が目立っている。前期比でも同じ傾向が見られ、販売価格やメニュー価格への転嫁が課題であると同える。来期の見通しでも「上昇」が多く、製造業と飲食・宿泊業でその傾向が強い。十日町市全体の全業種の数値とほぼ同じ状況になっている。

#### 4. 販売（客）単価について

・7月～9月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

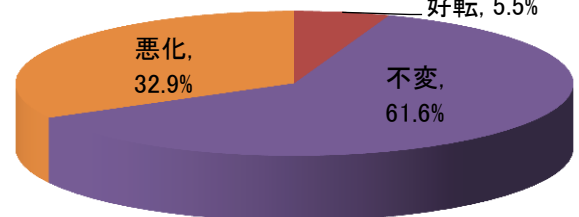
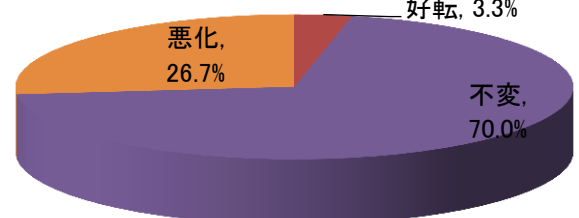
商工会地域全体 全業種合計		上昇 %	不変 %	減少 %	D I	前期比D I	見通しD I	
		建設業	2.3%	86.4%	11.4%	△ 9.1	△ 11.4	△ 6.8
		製造業	0.0%	71.4%	28.6%	△ 28.6	△ 28.6	△ 17.2
		卸・小売業	3.5%	42.4%	54.1%	△ 50.6	△ 35.3	△ 25.0
		飲食・宿泊業	3.8%	51.9%	44.2%	△ 40.4	△ 35.3	△ 33.3
		サービス業	13.2%	64.2%	22.6%	△ 9.4	△ 18.9	△ 24.5
		全業種合計	4.6%	63.1%	32.4%	△ 27.8	△ 24.9	△ 20.3
地域別 全業種合計		上昇 %	不変 %	減少 %	D I	前期比D I	見通しD I	
		建設業	0.0%	83.3%	16.7%	△ 16.7	△ 16.7	0.0
		製造業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0
		卸・小売業	40.0%	40.0%	20.0%	20.0	0.0	0.0
		飲食・宿泊業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0
		サービス業	0.0%	85.7%	14.3%	△ 14.3	△ 14.3	△ 14.3
		全業種合計	6.7%	63.3%	30.0%	△ 23.3	△ 26.7	△ 23.3

<全域コメント> 商工会地域全体の販売単価は、前年同期と比べて全業種合計で△27.8ポイント減少。特に卸・小売業は△50.6ポイント、飲食・宿泊業は△40.4ポイントと減少。不変割合は63.4%であった。前期比でも△24.9ポイント減少し、今後の見通しでも、全業種で減少予想をしており、需要の停滞、消費動向の変化が見受けられる。

<当地区コメント> まつだい地域の全業種の販売単価は、前年同期比△23.3ポイントであり、卸・小売業を除いてすべての業種で「減少」が「上昇」を上回っている。また、卸・小売業を除いては「上昇」の回答が0で消費が伸びていない状況が伺える。前期比においても△26.7ポイントとなっており、来期の見通しにおいても同じ傾向が伺える。

#### 5. 資金繰りについて

・7月～9月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I	
		建設業	6.8%	65.9%	27.3%	△ 20.5	△ 3.4	△ 14.8
		製造業	0.0%	78.6%	21.4%	△ 21.4	△ 17.9	△ 10.3
		卸・小売業	4.7%	60.0%	35.3%	△ 30.6	△ 29.4	△ 23.8
		飲食・宿泊業	3.8%	40.4%	55.8%	△ 51.9	△ 35.3	△ 45.1
		サービス業	9.3%	68.5%	22.2%	△ 13.0	△ 14.8	△ 5.6
		全業種合計	5.5%	61.6%	32.9%	△ 27.4	△ 19.3	△ 20.3
地域別 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I	
		建設業	16.7%	83.3%	0.0%	16.7	16.7	△ 16.7
		製造業	0.0%	87.5%	12.5%	△ 12.5	△ 12.5	△ 25.0
		卸・小売業	0.0%	80.0%	20.0%	△ 20.0	△ 40.0	△ 60.0
		飲食・宿泊業	0.0%	25.0%	75.0%	△ 75.0	△ 75.0	△ 75.0
		サービス業	0.0%	57.1%	42.9%	△ 42.9	△ 42.9	△ 28.6
		全業種合計	3.3%	70.0%	26.7%	△ 23.3	△ 26.7	△ 36.7

<全体コメント> 商工会地域全体の資金繰りは、前年同期と比べて全業種合計で△27.4ポイント悪化。特に飲食・宿泊業は△51.9ポイントと悪化が目立つ。又、不変割合は61.6%であった。前期比でも△19.3ポイント悪化し、今後の見通しでも△20.3ポイントと悪化を予想している中で、特に飲食・宿泊業の悪化が目立つので、事前の運転資金対策が必要と見られる。

<当地区コメント> まつだい地区の全業種の資金繰りは、前年同期比で△23.3ポイントであり、建設業以外は「好転」が0となっている。前期比においても△26.7ポイントであり同じ傾向が伺える。来期の見通しは、全ての業種で「悪化」という回答が「好転」より多くなっている。資金繰りに関する項目は、十日町市全体の全業種の数値と比べて、前期比と来期の見通しにおいて数値が悪くなっている。

6. 従業員数について

・7月～9月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

減少, 商工会地域全体 全業種合計 10.1%		増加, 6.8%		不変, 83.1%			増加 %	不変 %	減少 %	D I	前期比D I	見通しD I	
建設業		5.7%		81.8%		12.5%		△ 6.8		△ 2.3		△ 8.0	
製造業		10.7%		85.7%		3.6%		7.1		7.1		6.9	
卸・小売業		1.2%		89.4%		9.4%		△ 8.2		△ 3.5		△ 4.8	
飲食・宿泊業		1.9%		78.8%		19.2%		△ 17.3		△ 9.8		△ 3.9	
サービス業		20.4%		77.8%		1.9%		18.5		13.0		5.6	
全業種合計		6.8%		83.1%		10.1%		△ 3.3		△ 0.3		△ 2.6	

地域別 全業種合計		減少, 6.7%		増加, 6.7%		不変, 86.7%			増加 %	不変 %	減少 %	D I	前期比D I	見通しD I	
建設業		16.7%		66.7%		16.7%		0.0		0.0		0.0		0.0	
製造業		12.5%		87.5%		0.0%		12.5		0.0		0.0		0.0	
卸・小売業		0.0%		100.0%		0.0%		0.0		0.0		0.0		0.0	
飲食・宿泊業		0.0%		75.0%		25.0%		△ 25.0		△ 25.0		△ 25.0		△ 25.0	
サービス業		0.0%		100.0%		0.0%		0.0		0.0		0.0		0.0	
全業種合計		6.7%		86.7%		6.7%		0.0		△ 3.3		△ 3.3		△ 3.3	

<全域コメント> 商工会地域全他の従業員数は、前年同期と比べて全業種合計で△3.3ポイントと減少しているが、サービス業18.5ポイント、製造業7.1ポイントと増加している。又、不変割合は83.1%であった。前期比では全業種合計では、ほぼ変動がないものの、サービス業と製造業は増加となっている。又、今後の見通しについては、全業種合計では△2.6ポイント減少を予想しているが、製造業とサービス業は増加と予想している。

<当地区コメント> まつだい地域の全業種の従業員数は、前年同期比で約9割が「不変」という回答になっており、雇用動向は安定している。前期比並びに来期の見通しにおいては、飲食・宿泊業で減少の見方となっている以外は、「不変」又は「増加」と「減少」が均衡している。

7. 景況判断について

・7月～9月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計		好転, 5.5%		不変, 37.5%		悪化, 57.0%			好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I	
建設業		4.5%		55.7%		39.8%		△ 35.2		△ 22.7		△ 36.4		△ 36.4	
製造業		7.1%		50.0%		42.9%		△ 35.7		△ 39.3		△ 31.0		△ 31.0	
卸・小売業		1.2%		27.1%		71.8%		△ 70.6		△ 56.5		△ 52.4		△ 52.4	
飲食・宿泊業		3.8%		19.2%		76.9%		△ 73.1		△ 62.7		△ 60.8		△ 60.8	
サービス業		14.8%		35.2%		50.0%		△ 35.2		△ 33.3		△ 34.0		△ 34.0	
全業種合計		5.5%		37.5%		57.0%		△ 51.5		△ 42.2		△ 43.9		△ 43.9	

地域別 全業種合計		好転, 6.7%		悪化, 46.7%		不変, 46.7%			好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I	
建設業		0.0%		100.0%		0.0%		0.0		0.0		0.0		△ 16.7	
製造業		12.5%		50.0%		37.5%		△ 25.0		△ 50.0		△ 50.0		△ 50.0	
卸・小売業		0.0%		40.0%		60.0%		△ 60.0		△ 60.0		△ 60.0		△ 60.0	
飲食・宿泊業		0.0%		25.0%		75.0%		△ 75.0		△ 100.0		△ 100.0		△ 100.0	
サービス業		14.3%		14.3%		71.4%		△ 57.1		△ 28.6		△ 28.6		△ 28.6	
全業種合計		6.7%		46.7%		46.7%		△ 40.0		△ 43.3		△ 46.7		△ 46.7	

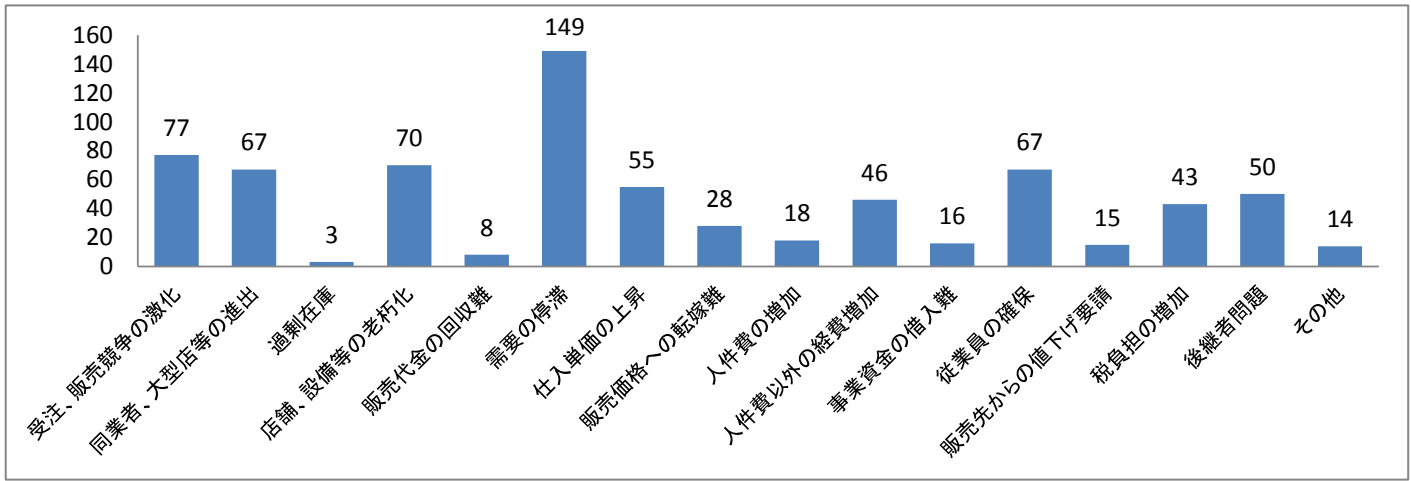
<全域コメント> 商工会地域全体の景況判断は、前年同期と比べて全業種合計で△51.5ポイント悪化。特に飲食・宿泊業△73.1ポイント、卸・小売業△70.6ポイントと大幅に悪化している。前期比でも、この傾向は変わらず全業種合計で△42.2ポイント悪化。今後の見通しでも、全業種合計で△43.9ポイントと悪化を予想しており、特に飲食・宿泊業、卸・小売業は、非常に厳しい見方をしている。

<当地区コメント> まつだい地域の全業種の景況判断は、前年同期比△40.0ポイントであり「不変」の回答が半数近くあるものの「悪化」が「好転」を大きく上回る結果となり、前期比、来期の見通しでも同様の傾向となっている。業種別では、建設業で全ての事業者が「不変」と回答しているものの他の業種の景況DIは悪く、飲食・宿泊業では、前期比・来期の見通しともに△100となっている。また今後の見通しは全業種において厳しい景況感であることが伺える。

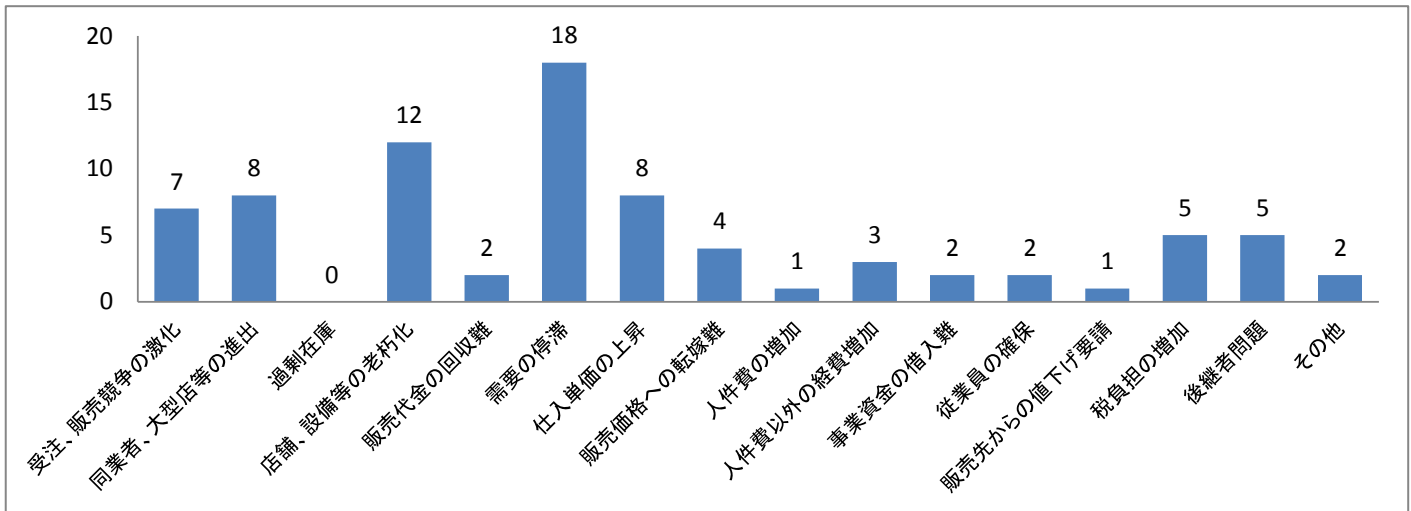


8. 経営上の問題点（上位3つ）

商工会地域全体 全業種合計



地域別 全業種合計



＜全域コメント＞ 商工会地域全体の経営上の問題点、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「従業員の確保」4位「店舗、設備等の老朽化」5位「税負担の増加」6位「後継者問題」「仕入単価の上昇」7位「同業者、大型店等の進出」となり、前回調査との比較で、1・2位は変わらなかったが3位以降に変動があった。

＜当地区コメント＞ まつだい地区の経営上の問題点は、1位「需要の停滞」、2位「店舗、設備等の老朽化」、3位「同業者、大型店等の進出」・「仕入単価の上昇」、5位「受注、販売競争の激化」となっており、多少の違いはあるものの十日町全体の問題点と同じ状況になっている。2番目に多い設備等の老朽化については、内部要因として計画性を持った対応が必要である。

9. 後継者の状況について

- 7月～9月時点での後継者の状況は

商工会地域全体 全業種合計

	有り	無し
建設業	39.8%	60.2%
製造業	55.2%	44.8%
卸・小売業	29.1%	70.9%
飲食・宿泊業	43.4%	56.6%
サービス業	33.3%	66.7%
全業種合計	37.7%	62.3%

地域別 全業種合計

	有り	無し
建設業	16.7%	83.3%
製造業	37.5%	62.5%
卸・小売業	0.0%	100.0%
飲食・宿泊業	0.0%	100.0%
サービス業	14.3%	85.7%
全業種合計	16.1%	83.9%

＜全域コメント＞

商工会地域全体の後継者の状況については、全業種合計で62.3%の事業所で後継者がいない状況である。特に、卸・小売業では70.9%の事業所で後継者がいない状況である。

＜当地区コメント＞

まつだい地域の後継者の状況については、後継者なしと回答する事業所が8割を超え、業種によっては100%無しの業種もある。但し、調査対象事業所は商工業者の約5分の1であり、偏った回答になっている可能性もある。

## 10. 地域全体の景況概要

・7月～9月時点での全体概況は

### <全域コメント>

#### 【建設業】

今期の景況を前年同期で比較すると、すべての項目で悪化しており、特に「売上」「採算性」の悪化が目立つ。しかし前期との比較では、「売上」は若干増加、その他項目の減少幅も小さくなっているが、「景況判断」は悪化と見ている経営者が多い。今後の見通しについては、当地域の気象特性から、仕事量が少なくなることも加味し、先行きを厳しく見ている方が多い。一方、経営上の問題点で、今回1位に「従業員の確保」2位「需要の停滞」4位「後継者問題」となっており、少子高齢化によるマンパワー不足が事業継続の大きな問題と考えている経営者が多く見られる。

#### 【製造業】

今期の景況を前年同期で比較すると、「仕入単価の上昇」と「販売単価の低下」により、「採算性」が悪化するとともに「売上」も減少しているが、「売上不変」回答は約42%ある。前期との比較では、「仕入単価の上昇」が25%企業に見られ、今後の見通しでも32%企業が上昇予測をしており、「需要の停滞」と「受注、販売競争の激化」を問題点と抱えている現状で、製造業全体の回復は不透明であると言える。

#### 【卸・小売業】

今期の景況を前年同期で比較すると、すべての項目で悪化している。「販売単価の低下」も相まって「売上の減少」が著しい。前期との比較では、悪化傾向は縮小しているものの、今後の見通しも一層悪化すると予測している経営者が多い。この要因を経営上の問題点から探ると1位「需要の停滞」2位「同業者、大型店等の進出」3位「受注、販売競争の激化」と外部要因を掲げている。一方、4位「店舗、設備等の老朽化」6位「後継者問題」と内部要因を問題視している経営者も見られることから、今後も厳しい経営が予測される。

#### 【飲食・宿泊業】

今期の景況を前年同期で比較すると、「販売単価の低下」を含み「売上減少」となり、「仕入単価の上昇」も相まって「採算性」が悪化した。この傾向は、前期との比較及び今後の見通しについても同じ傾向であり、現状と先行きを不安視している経営者がほとんどである。経営上の問題点として、1位「需要の停滞」2位「店舗、設備等の老朽化」であるが、ほぼ同数であり、先行きが不透明であることから設備投資をためらう経営者が見られる。一方4位に「従業員の確保」を掲げていることから、マンパワーで打開することを考えているが人材が集まらない現状が考えられる。

#### 【サービス業】

今期の景況を前年同期で比較すると、「従業員数」を除き各項目は悪化している。約57%企業が「売上の減少」し、約43%企業が「採算性」も悪化している。前期との比較でも、ほとんどこの傾向は変わらない。今後の見通しについても、約47%企業が「売上の減少」が進んでいくと予測しており、経営は益々厳しくなると思われる。経営上の問題点1位「需要の停滞」2位「同業者、大型店等の進出」3位「店舗、設備等の老朽化」が同数、4位「受注、販売競争の激化」となっている。

以上業種別景況概要を踏まえると、全産業ベースで前年同期と比べて悪化していると言える。前期(春)と比べても悪化傾向にあり、今後の見通しについても先行き不透明な現状で厳しい経営を迫られている経営者が多いが、好転している企業も一部あり、又、先を見据えた人材確保を考えておられる経営者もいることは明るい材料である。

### <当地区コメント>

#### <建設業>

前年同期比では、多くの項目で「不変」という回答が多く、売上と資金繰りは「増加・好転」が若干上回っている。前期比では、売上の項目で「増加」の回答が多く、夏場から仕事が多くなるという業界の特性が出ている。この傾向は、来期の見通しでも同じように数値として現れ、降雪期までの忙しさが伺える。経営上の問題点では、受注・販売競争の激化、同業者等の進出、需要の停滞、従業員の確保が同数上がって来ている。

#### <製造業>

前年同期比では、採算性や販売単価、資金繰り、景況判断の項目で、「減少・悪化」の回答が上回っている。前期比においては、全ての項目で「減少・悪化」の回答が上回り、来期の見通しについても「減少・悪化」の傾向がますます強まり、先行きに不安を抱える結果となっている。経営上の問題点には、需要の停滞を上げる事業所が一番多く、非常に厳しい業界の動向が伺える。

#### <卸・小売業>

前年同期比では、売上、資金繰り、景況判断の項目で、「減少・悪化」の回答が上回っている。特に売上の減少と景況の悪化を回答した事業者が多い。前期比でも同じ傾向が現れ、DIのマイナス幅は拡大している。来期の見通しでは、仕入単価を除き、全ての項目で、「不変」または「減少・悪化」の回答であり、経営上の問題点にもあげられている通り、「需要の停滞」と「受注、販売競争の激化」により先行きは厳しいとみている。

#### <飲食・宿泊業>

前年同期比、前期比、来期の見通しの全ての比較において、仕入単価の上昇を回答するものの、他の項目では「減少・悪化」を回答する事業者が多く、明るい兆しが全く見えない状況となっている。第2四半期の集計では、一番厳しい状況が伺える業種である。経営上の問題点では、需要の停滞、仕入単価の上昇、設備等の老朽化があげられている。

#### <サービス業>

前年同期比では、売上、採算性、資金繰り、景況判断の項目で、「減少・悪化」の回答が多く、他の業種と比較しても割合が高い。一方、販売単価は、「不変」という回答が多く、顧客数の減少が伺える。前期比では、売上の項目において「増加」の回答があったが、来期の見通しでは全ての項目で「減少・悪化」の回答が上回り厳しい見通しが伺える。経営上の課題では、設備等の老朽化に悩む事業者が多く見受けられる。

以上、業種別の景況概要を踏まえて、全業種の動向をまとめると、業種特性のある建設業を除き、前年同期に比べ業況が悪化している事業者が多く、「需要の停滞」に加え、「仕入単価」の上昇があるが価格に転嫁できない状況が伺える。前年同期比、前期比に比べ、来期の見通しについては、マイナス幅が若干拡大する傾向にあり、まつだい地区の景況判断は非常に厳しいという結果となっている。経営上の問題点では、「需要の停滞」に次いで「店舗・設備等の老朽化」を上げる事業者が多く、多額の資金を要する内部要因への対策も必要な状況が伺える。